

◎矢部高校、上天草高校

1 事業タイトル

林業のチカラ×ふくしの心

～認知症予防パズル「好き！通潤パズル」を通じた学科間交流～

2 事業内容

(1) 背景

令和3年度矢部高校林業科学科では、認知症予防パズル「好き！通潤パズル」の開発を行った。開発に当たっては山都町社会福祉協議会、(株)Re学の協力があり専門的な監修のもとより効果的で何度も楽しめるパズルを開発し、市内のサロンや福祉施設に100セット寄贈した。令和4年度からは年間200セット限定で予約販売を行い即完売、今注文すると令和6年3月の引き渡しの人気商品となっている。

開発を進める中で、林業科学科の生徒は福祉の現場の状況を専門的に学ぶ機会がなく、山都町福祉課から山都町の福祉事業所などの概要を学ぶ機会をいただいた。開発メンバーに実際にパズルを活用する職業を学ぶ福祉に関する学科の仲間が欲しいと生徒の中から声が上がった。

(2) 目的

上天草高校は、介護福祉士を目指す福祉科があり、日頃の授業や実習、福祉施設での現場実習などで福祉に関する知識があり現場の状況も理解している。

林業科学科の好き！通潤パズルをまずは体験していただき、木のぬくもりを生かした新しい用具の共同開発を実施するとともに、両校の生徒の交流を通じて、林業のチカラとふくしの心を融合した新しい取り組みを実現し県内外に両校の魅力を発信することを目的とする。

(3) 内容

ア 林業のチカラ

上天草高校福祉科の生徒が矢部高校を訪問し、木工体験（認知症予防パズル製作体験）を行い、共同開発について検討した。

イ ふくしの心

矢部高校林業科学科の生徒が上天草高校を訪問し、福祉の授業体験等を行った。

ウ 新しい福祉用具の共同開発

上天草高校の福祉科の専門的な知識と矢部高校林業科学科の木工技術を生かして、好き！通潤パズルに続く新しい福祉用具または福祉にも使えるゲームなどの開発を行う。

学校間の打ち合わせの結果、上天草高校が交流する上天草市立中南小学校に通う肢体不自由で車椅子生活の小学生がクラスメイトとポッチャを楽しむために、こども向けのポッチャランプを製作することにした。試作を重ね完成したランプを熊本テルサで開催された熊本県人権フェスティバルのポッチャコーナーで披露し、専門家のアドバイスを受けた。

ポッチャランプは、中南小学校の特別支援学級に寄贈し試していただいた。今後は、担当の先生から児童が使ってみての改良点等を聴取しよりよい製品になるように改良していきたい。

